

令和2年度

浜松市三大地財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見書

浜 松 市 監 査 委 員



浜 監 第 55-1 号

令和 3 年 10 月 7 日

浜松市長 鈴木康友 様

浜松市監査委員 川 嶋 朗 夫

浜松市監査委員 佐 藤 雅 秀

浜松市監査委員 鳥 井 徳 孝

浜松市監査委員 鈴 木 育 男

#### 決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 2 年度三大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

令和2年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	1
第1 審査の基準	1
第2 審査の対象	1
第3 審査の期間	1
第4 審査の着眼点及び実施内容	1
第5 審査の結果	1
第6 決算状況	2
1 決算収支	2
2 決算の計数	2
3 歳入	2
4 歳出	3
第7 財産管理の状況	3
1 公有財産	3
2 基金	3

## 凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

# 令和2年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

## 第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

## 第2 審査の対象

令和2年度浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

## 第3 審査の期間

令和3年7月1日から同年8月20日まで

## 第4 審査の着眼点及び実施内容

2年度浜松市三大地財産区特別会計の歳入歳出決算について、

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

を着眼点とし、検証した。

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

## 第5 審査の結果

審査に付された浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に適合し、かつ、その計数はいずれも正確で、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

## 第6 決算状況

### 1 決算収支

#### 決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2年度	元年度	増減額	対前年度比
歳入決算額 (A)	13,281	10,371	2,909	128.1
歳出決算額 (B)	6,294	4,678	1,615	134.5
歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	6,986	5,692	1,294	122.7
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支 (C)-(D) (E)	6,986	5,692	1,294	122.7
前年度実質収支 (F)	5,692	3,787	1,904	150.3
単年度収支 (E)-(F)	1,294	1,904	△ 610	68.0

歳入決算額は1,328万円、歳出決算額は629万円となっている。実質収支は、698万円の黒字で、元年度に比べて、129万円(22.7%)増加している。また、単年度収支は、129万円の黒字である。

### 2 決算の計数

令和3年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金698万円で、2年度の歳入歳出差引額と合致する。

### 3 歳入

#### 歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2年度	元年度	増減額	対前年度比
財産収入	7,588	6,583	1,005	115.3
財産運用収入	7,588	6,583	1,005	115.3
繰越金	5,692	3,787	1,904	150.3
合 計	13,281	10,371	2,909	128.1

歳入は1,328万円で、元年度に比べて、290万円(28.1%)増加している。主として繰越金190万円の増加によるものである。

## 4 歳出

### 歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2 年度	元年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	272	115	156	236.5
議 員 報 酬	164	109	54	150.5
一 般 諸 経 費	108	6	102	1,800.0
総 務 費	6,022	4,563	1,458	132.0
一 般 管 理 費	280	152	128	184.2
財 産 管 理 費	5,741	4,410	1,330	130.2
合 計	6,294	4,678	1,615	134.5

歳出は 629 万円で、元年度に比べて、161 万円 (34.5%) 増加している。主として財産管理費 133 万円の増加によるものである。

## 第 7 財産管理の状況

### 財産現在高

区 分			2 年度末現在高	元年度末現在高	増 減 高	
公有財産	山 林	所 有	面 積 (㎡)	363,024.00	363,024.00	0.00
			立 木 (㎡)	670.89	650.87	20.02
基金	現金	積立基金 (千円)	41,000	41,000	0	

### 1 公有財産

#### 山林

山林の面積は 2 年度末現在 36 万 3,024.00 ㎡で、元年度末と同じである。立木の推定蓄積量は 2 年度末現在 670.89 ㎡で、元年度末に比べて、20.02 ㎡増加している。

これは自然成長によるものである。

### 2 基金

三大地財産区基金の現金は 2 年度末現在 4,100 万円で、元年度末と同じである。